

2019 年 7 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社多摩川ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 榎 沢 徹
(JASDAQ・コード6838)
問合せ先 経営企画部 徳 本 潤 弥
電話番号 03-6435-6933

グリーンエネルギー余剰電力マネージング&オペレーション協調操業システム 「GEMCOS」の開発および実証試験開始に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 2 月 14 日付「東北大学(宮城県仙台市)との共同研究の開始に関するお知らせ」のとおり、内外で拡大する自然エネルギー(太陽光、風力、バイオマス、温泉熱等)分野での最適化機器制御・モニタリング、およびその余剰電力を利用したニュービジネスの構築を模索してきました。

このたび、当社パートナーである、AURA-Green Energy 株式会社(以下「AURA 社」という)および宮城県仙台市の電気制御機器・ソフトウェア設計の株式会社システム・アイ(以下「システム・アイ社」という)と共同で風力発電機器からの余剰電力を蓄電して、IoTセンサネットワークのコンピューター駆動用サーバーや緊急時防災減災システム等の低コスト化の電源確保を想定した、グリーンエネルギー余剰電力マネージング&オペレーション協調操業システム「GEMCOS」(以下「本製品」という)の開発および実証試験を開始しましたのでお知らせいたします。

■概要

当社はこのたび、AURA 社およびシステム・アイ社と共同で開発した本製品を当社グループが保有する、青森県深浦町の小型風力発電機器の発電制御室に装着して、実証試験を開始いたしました。本製品は東北大学マイクロシステム融合研究開発センター・特任教授である古屋泰文氏の監修協力を得ており、システム・アイ社が風力発電機器の発電能力に合わせて設計したものです。

本製品は、今まで小型風力発電において、ある一定以上の電圧を超えると余剰になる電力を、変動電圧出力の整流化を図ることによりバッテリー蓄電機に貯めて、いつでも必要時に自在に活用することが出来ることとなります。今回の実証試験において使用した本製品は、中規模消費電力までのコンピューターサーバー駆動用や通信機器を作動させることができ、Wi-Fi 通信により遠隔的にモニターできるシステムとなっております。

本製品の応用分野は、小規模集落、離島等での電力確保、および非常時でのライフライン用電源確保など多岐にわたります。さらに本製品は、1) 分散ネットワーク型電力蓄電バッテリー管理システム、2) 低電力電子機器用サーバーの運用、3) 遠隔監視可能 IoT 分散型センサネットワークによる安全高効率モニタリング機能を組み入れているため、余剰電力を利用した低コストの応用可能性分野が広がります。

特に北日本地域においては、通年での冷涼気象の有利さも加わり、常時運転コンピューター用サーバー消費電力コストが半分以上に抑制できる可能性があると見込まれ、また、本製品の中型から大型化を通して、グリーンエネルギー分野の利益確保が可能となります。

当社グループは、これからも内外関係機関との連携強化を図り、社会変革に対応できる事業化体制の構築に向けて取り組んでまいります。

※GECOS : Green Energy Management for Collaborative Operation System

以 上